

ウチヤマタイムズ 2018

No. 200

(株)ウチヤマホールディングス 〒802-0044北九州市小倉北区熊本2丁目10-10 電話:093-551-0002
発行日:平成30年9月20日 編集:岡田直紀・八尋有紀・小橋佳緒里 監修:内山文治・吉岡信之

さわやか俱楽部 インドネシアに 子会社を設立

七月三十一日に、株式会社さわやか俱楽部とインドネシアの現地企業が出資した合弁企業の設立手続きが完了しました。新設企業の名称は「P.T.

SAWAYAKA FUJU-INDO-INDONESIA」です。新法人の設立を受け、ウチヤマグループの新規事業として、インドネシアの職業訓練学校が営業を開始しました。八月下旬には、山本武博専務を中心とする本社の役職員と明治アーク監査法人の担当者が現地を視察し、今後の事業運営に関する打ち合わせが行われました。法人所在地はインドネシアの首都ジャカルタで、職業訓練校はバリ島にあります。インドネシアから日本に来る若者達に、日本語教育を中心とした職業訓練を行います。今後は日本の技能実習制度を活用し、日本語を身に着けたインドネシアの若者が、ウチヤマグループの介護施設をはじめ、日本の様々な企業・業種で働けるように支援を行っていきます。



九月四日には、さわやか俱楽部が介護職で内定を出している第一期生の入校式を行いました。現地法人の代表を務める森純一郎社長と、さわやか俱楽部の八尋有紀部長、現地駐在社員の田中辰美さんも参加しました。現在入校が決まっている生徒は十二名で、教育を開始する十月一日までは、更に増員して三十名を目指す予定です。介護業種は日本語検定の資格要件がある為、一年程の教育期間が必要となります。来日まではまだ時間がかかりますが、内定者の皆さんは高いモチベーションを持って、日本で働く日を楽しみにしています。



セミファイナルに
二事業所が登場！

介護甲子園

九月十三日、十四日に千葉市の幕張メッセで「第八回介護甲子園」のセミファイナル大会が行われました。全国各地の介護事業所から一次予選でトップ三十に選ばれた「さわやかさの館（栃木県佐野市）」の志賀サブマネジャー、「さわやかあおい館（静岡県静岡市）」の梶原施設設長がそれぞれステージでのプレゼンを行い、スライドと動画も使いながら各事業所の取組みを発表しました。現在は決勝進出をかけた各事業所の動画へのネット投票がホームページ上で行われています。皆様の応援、ご協力をよろしくお願いします！

さわやかさの館 志賀貴紀 サブマネジャー

控室に入ると他の参加者の緊張感がピリピリ伝わってきました。私も必要以上に緊張してしまい、顔が強張ったり、練習では上手く声が出なかつたり、文章が飛んでしまったりと悪戦苦闘しましたが、千葉県や神奈川県の施設から施設長たちが応援に来てくれ、みんなの顔を見たら不安な気持ちが吹き飛びました。本番でも最前列で応援して頂き、私も会場の雰囲気に呑まれることなく、さの館の取り組みをしっかりと発表することができました。本当にありがとうございます。優勝目指してこれからも頑張っていきますので、皆様の応援宜しくお願ひ致します。

さわやかあおい館 梶原和典 施設長

あおい館では、サンクスカードの取り組みについて発表しました。観客の方から「分かりやすかったです」との言葉を頂戴し、伝えたかった部分はしっかりとお伝えできたかと思います。会場は満員で注目度の高さがうかがえました。他事業所の皆様との交流もあり、私にとっても良い刺激を多く受けることができました。多くの方の支援にて参加できただことに感謝いたします。



投票しよう！

介護甲子園の最終予選ネット投票はこちから※10月21日まで
https://kaigokoshien.org/vote_2018/

創刊おかげさまで 200号

内山さわやか会・会長
セントラル会計事務所 古賀 佳契様



200号おめでとうございます。毎月、ウチヤマタイムズが届くのを楽しみにしている一人です。社長の考えは元より、全国各地に展開されている事業所の雰囲気や、そこで頑張っている社員の方々の息遣いまで伝わってくるような記事をありがとうございます。継続は力なり、300号、500号…と続きますように。

株式会社船井総合研究所
上席コンサルタント 三浦 康志様

ウチヤマタイムズはとても勉強になるので、毎号欠かさず読みさせていただいている。直近でも、さわやかリバーサイド西脇の入居者の方々が食堂を営業しているという記事を読み、ビックリするとともに感激しました。ウチヤマタイムズが、社員のご家族や我々のような社外の人々にも送られていることも素晴らしいと思います。

イシハラクリニック
院長・医学博士 石原 結實様

創刊200号、誠におめでとう存じます。毎回楽しみに拝読いたしておりますが、スタッフの皆様の生き生きとした働きぶり、誠意、社会貢献への熱意が、行間からも力強く伝わってきます。中でも内山社長のメッセージは圧巻で、社長様のお人柄、スタッフへの思いやり、豊富な人生経験、経営哲学で一杯です。私のバイブルです。益々のご発展をお祈りします。



STAR No.127

山下 浩美さん 50歳
さわやか室蘭館・主任
[北海道室蘭市]

入社する前は、デイサービスのパート職員として勤務していました。子供も大きくなり、働くならパートではなく、正社員として働きたいと思っていたところ、さわやか室蘭館の新規オープンの社員募集を見て、チャレンジしようと思い決断したのが入社のきっかけです。合格の連絡をいただいた時には、大喜びしたのを今でもはっきり覚えています。

毎日の業務の中で、入居者様から笑顔で「ありがとう」と言って頂いたり、ご家族様からも感謝のお言葉を頂くと、とても嬉しく思います。私たち職員は入居者様の命をお預かりし、体調面の管理も重要な業務ですが、他にも安心して暮らして頂けるような支援、生きがい作りのサポート、楽しんで頂けるようなレクリエーションの提供、接遇マナーなど、全てバランス良く業務を行わなければいけません。職員一人ひとりの意識とチームワークで、施設全体を変えていけるところに、とてもやりがいを感じています。

ウチヤマタイムズは、この10月号で200号を迎えました。2001年5月の創刊以来17年間、ウチヤマグループの様々な最新情報を社内外に発信してきました。これまで情報提供や取材にご協力下さった皆様、感想やアドバイスを寄せて下さった皆様に、心より御礼申し上げます。毎月ご愛読いただいている読者の方々から、お祝いのメッセージを頂いていますので、ご紹介させていただきます。

みやざき中央新聞
魂の編集長 水谷 もりひと様

創刊200号、おめでとうございます。数年前に内山社長が「Message from President」の中で「日報」について書かれていました。それを読んで我が社でも日報を導入しました。また、本を買うときはいつも「推薦の10冊」を参考にしています。これからもさらなるご発展をお祈りします。

認定NPO法人テラ・ルネッサンス
理事・創設者 鬼丸 昌也様

ウチヤマタイムズが手元に届くたびに、隅から隅まで目を通しています。なぜなら、その紙面には、「感謝」と「挑戦」がみなぎっているからです。内山社長を始めとするグループの皆さまが、互いに感謝し、一人一人が成長への挑戦を続けている姿を、紙面で拝見するたびに、私も世界平和に向けて頑張ろうと、勇気を奮い立たせることができます。これからも、300号、400号と続いていくことを願っております。

さわやかめぐり館 古屋 篤子 施設長

創刊当初から読んでいます。初めのころはボナーのカラオケ・飲食部門の話題が主でしたが、次第にさわやか俱楽部の入居者様や職員等の情報が増え、振り返ってみても会社の歴史と変遷がよくわかります。内山社長のメッセージに教えられることも多くあります。編集の方々ありがとうございます。一読者として今後も期待しています。

かんてきやスクンビット店 石原 稔 料理長

私がタイに行き4年になります。高齢の父と母は、毎月実家に届くウチヤマタイムズを楽しみにしています。特に私の事が取り上げられると本当に涙を流して喜ぶそうです。日本とタイと離れている分、特に嬉しいようです。その様子を聞くと親孝行になっていると感じます。これからも仕事を通じて少しでも親孝行が出来る様に頑張ります。

キラリ
一等星

キラリと輝くスタッフを
ご紹介します。

今年の2月に北海道エリア代表として、口腔ケアの本社研修に参加させて頂きました。研修で学んだことを職員に伝達し、口腔ケア認定士に合格した職員が増えたこと、そして主任口腔ケア認定士になれたことが嬉しかったです。また、研修が行われている期間中、主任に昇格となったのですが、本社の奥エリアマネジャーからサプライズでケーキをプレゼントして頂き、一緒に研修を受けていた仲間から祝福して頂いた時は涙が出ました。本当に嬉しかったです。

今年の3月からフロアリーダー兼務となりました。主任でありながら、自分の担当フロア重視となっていますので、今後は室蘭館全体としての活動を増やし、入居者様の楽しめる時間をもっともっと提供していきたいです。今は仕事が主体の生活となり、プライベートの時間はほとんどありませんが、不思議と苦痛に思うことはなく、室蘭館が大好きなのだと思います。

「ふくおかケアコンテスト」 予選会で4名入賞!

福岡県が毎年主催している「ふくおか介護フェスタ」というイベントの目玉企画として、今年も福岡県内の介護職員が技術を競う「ふくおかケアコンテスト」が行われます。9月1日に福岡市、9月8日に北九州市でそれぞれ予選会が行われ、さわやか倶楽部から4名の社員が入賞しました。

ふくおか介護フェスタ2018 | 日時 2018年10月28日(日)11時~16時30分 会場 FFGホール(福岡市中央区) 入場無料

産んでくれて、育ててくれて、ありがとうございます。

やまながせいじ
山長 誠司さん

さわやか福ふく館
福岡県北九州市



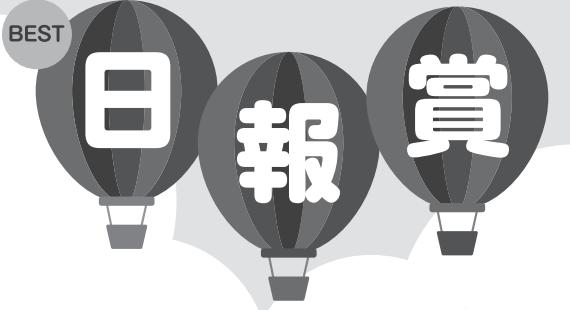
私が高校2年生の時、父と母が離婚しました。父はその後東京に住み、あまり会ってはいませんが、心配はしてくれているようです。

母はとにかく優しく、怒る、怒鳴るといったことはほとんどありませんでした。中学・高校の時は特に反抗したりしてかなり迷惑を

かけた記憶があります。もっと叱ってくれればと思うくらいでした。浪人もし、大学も留年するなど経済的にもとても負担をかけてしまいましたが、何も言わずに学費や生活費を面倒見てくれました。今考えると、なんて親不孝したんだろうと思います。

私が社会人になってから、母は兄夫婦と同居をしていました。兄夫婦が別れたり、家がゴタゴタしていた頃、うつ病や乳がんになり、かなり苦労されましたね。その時の母はとても小さく、弱く見えました。母が何も文句を言わず、耐えている姿を見て、今までのことをとても反省させられました。

今でもあまり親孝行はできていませんが、少しずつ恩返ししていきます。しっかり見守ってください。そしてこれからは自分がサポートしています。お父さん、お母さん、産んでくれて本当にありがとうございます。



ウチヤマグループで働く
皆さんの日報をご紹介します。

宇田 葵さん

●さわやかひめじ館
兵庫県姫路市



本日、アセスメントに行きました。事前の情報のみで、利用者様を自分の中でどのような方が想像していましたが、私が思っていた方とは全然違いました。他人からの話や情報だけで、人を判断してはいけないな、と改めて強く実感しました。自分の目で実際見て、その方のことを知ることが重要です。疾患というだけでその方のことを判断するのではなく、その方自身を知り関わっていきます。本日お会いした方も、ひめじ館への入居をとても楽しみにしておられます。“ここに入居して良かった”と思って頂けるように最善の援助をしていきます。

前田 拓俊さん

●コロッケ倶楽部 中城店
沖縄県中頭郡



夏休み期間ということで、集客が多くなっていますが、このチャンスを無駄にしないよう気を引き締め、LINEやアプリ会員の登録に力を入れました。その結果、登録数も伸びてうれしく思います。

2階のドリンクバーを利用される1階の部屋のお客様が、階段の上り下りを大変そうにされているのを目にした為、2階の部屋が空いた際に早急にご連絡を差し上げ、部屋の移動をしました。「階段を上らなくてすむから助かるわ」と、とても嬉しそうに笑顔でお応えされ、こちらも気配りできて良かったと思いました。

さわやかだより

日々更新される施設のブログから一部をご紹介します。



工場見学

工場見学の様子をお伝えします。添田町にあるめんべい工場に行ってきました。「めんべいで何?」と言う児童や「食べたことあるー!」とテンションが上がる児童などさまざまでした。

工場について、まずはDVDをみてめんべいの材料などを学びました。みんな真剣にみていました。そしてめんべい試食タイム…「おいしー」との声続出。みんな完食していました。

試食を終え、場所を移動し工場見学スタート。めんべいが完成するまでの工程を実際にみることが出来、「また食べたい」「今度はお父さんお母さんと来たい」との声も多く上がっていました。そして出来立てのめんべいもお土産にいただきました。児童達も大喜びでした。

かんだ館の児童はめんべいがさらに大好きになったようです。今度おやつでサプライズで出そうかなと考え中です…めんべい工場の皆様ありがとうございました。(荒平 真衣)



夏祭り

夏祭りのご様子をご紹介します。

掛田ホーム長からの開会の言葉を頂き、いよいよ夏祭りスタート!ボランティアホタルの皆様より、踊りや歌をご披露頂きました。地域の方々の熱唱も!夏祭りの定番「炭坑節」を皆さんで踊ったり歌ったりされ、夏祭りは終わりました。

年に1度のイベントである夏祭りに初めて参加された方もおられ、ご家族様や職員と一緒に楽しむことが出来ました。まだまだ今年も色んなイベントを予定していますので是非ご参加ください!お待ちしております!

ボランティアの方々、地域の皆様、そしてご家族様今回夏祭りに参加して頂きありがとうございます。今後もよろしくお願ひします。(徳丸 瑛一)



夏祭り

先日行われた夏祭りでは、職員のお子様がお友達に声をかけて大勢でとても可愛く素敵なダンスを披露してくれました。入居者様も終始笑顔で観覧しておられました。

当日は天気も良く、ご家族様、ご近所様、ボランティアの方も多く来館下さり、食べて、飲んで、最後は花火で今年の夏祭りを締めくくりました。ご家族様との団らんにより一層の笑顔が満載の一一日でした。(川端 輝子)



夏祭り

第一回さわやかさがみはら館夏祭りを開催いたしました！
屋台、職員によるソーラン節の出し物、キッズダンサーによるダンス、炭坑節。初めての夏祭りでしたが、入居者様、ご家族様、近隣の皆様に楽しんでいただけました。

最後は入居者様、スタッフ勢ぞろいで記念撮影を行ないました。11月には1周年を迎えます。さがみはら館を盛り上げていきます！（西島 美希恵）



2018/08/2(土) 15:00

夏祭り

今年も『夏祭り』の時期がやってまいりました。

屋台は、たこ焼き・焼きそば・かき氷・唐揚げ・フランクフルト・焼き鳥をご用意させていただきました。その中でも人気は、フランクフルトとフライドポテトでした。子供達に人気なのは、ヨーヨー釣りでした。笑顔でヨーヨー釣りをする姿に癒されます。

お楽しみ企画として、職員のコーラ一気飲みとロシアンたこ焼きを行いました。入居者様達の笑いを誘い、盛り上がりを見せました。来年は違う企画をいたしますので、楽しみにしていて下さい。（大平 亮子）



夏祭り

先日行われた立花館の夏祭りの様子をご紹介します。

ご入居者様の中には、今年も自前のはっぴを着て参加されている方もいらっしゃいました。この日は特別に焼き鳥片手にビールを楽しめている方や、かき氷を美味しいように食べられる方もおられました。

ホールではスイカ割りや、職員も参加するコーラスグループによる合唱があり、子供よさこいのグループには踊りを披露して頂きました。バーやJAの方による出店もあり、終始笑顔であふれ皆様楽しんでおられたようです。（香月 信乃）



買い物レクリエーション

雨で、しょんぼりしていた私ですが、なかい館の子どもたちがボソリと一言。「先生、雨はね神様が涙を流してるんだって」と、話してくれた一言に私も、ほっこり。こどもたちって、いつも笑顔してくれるんですよね。

さて、そんな雨の土曜日ですが、今日も元気にはじました、なかい館!今日は100円パンで、最近ちまたで噂の?!伊三郎製パンへ、なかい館もついに買い物レクリエーションへ!

所持金は500円以内!!!昼食に自分が食べられる分だけだよ。いくつ買えるかな?

さて、好きなもの選んでいくよ~!落とさないようにね~!職員も四方八方ハラハラ、ドキドキ!と～っても安定してスムーズにみんな、レジへ!レジも一列に一般のお客様に紛れて一人ずつ!レシートも忘れずにね!先生も買っちゃいました。すると遠くの方から子どもたちの声が…「先生も500円以内よ!」また行こうね!(中野 聖加)





「コンプライアンスを徹底しよう」

今年の九月十一日で、ウチヤマホールディングスが東証一部に上場して四周年を迎えるました。これまで会社の成長を支えて下さったお客様や取引先の方々、地域の方々に改めて感謝するとともに、これからも上場企業としての社会的な責任を負つて、しっかりと企業経営を行つていかなければならぬと、この思いを強くしています。

最近では、企業規模の大小にかかわらず、内部統制の機能不全や倫理観の欠如による様々な不祥事、不正行為が次々と発覚しています。ビジネスの世界においては、「コンプライアンス（法令遵守）」という言葉が重要なテーマとして取り上げられる機会が年々増えているように思います。企業が社会の中で継続して存在するためには、法律だけでなく社会的な規範や倫理的な概念を含めて、一定のルールの下で他の企業と競いながら利益を上げていくことが求められます。売上や利益を上げるために、あるいは自己の保身のためといった自分勝手な理由で公共のルールを逸脱することは、決して許されることではありません。ひとたびそうした不正行為が発覚すれば、社会的な批判の目にさらされ撤退を余儀なくされることでしょう。特に、グローバル化が進む現代社会において、当社を含む上場企業は世界の投資家が求める国際的な基準を意識した経営を心掛ける必要があります。

私たちの業界を取り巻く環境は、日々変化しています。特に介護業界においては、介護保険制度の改正や介護報酬の改定などが継続的に行われており、政府の定める基準の変化に施設の運営状況が対応できているかを常に監視していく必要があります。

法令を守るためには、法令によって何がどのように定められているのかを、私たち自身が知つておかなければなりません。どの書類をいつまでに誰に提出するのか、どのような研修

をどのタイミングで実施するのか、どんな資格の職員を何名配置しなければならないのかなど、事業の形態や所轄する行政機関によつて関係する法律や条例も違つてきます。法令に対する無知でいることは、それだけで不正につながる可能性もあります。「知らないかった」では通用しませんし、善意の間違いも許されません。また、法改正によつて今までのやり方が通用しなくなる可能性もあります。特に店長や施設長などの管理者にあたる社員については、法律に関する知識を自ら進んで勉強しながら、常にコンプライアンスを意識した運営を心がけてください。

日々の業務においては、現場レベルで様々な判断を求められことがあります。様々な行動の選択肢がある中でどのように対処するべきか、すべてが法令や規程、マーケット等に定められているわけではありません。そこで価値判断の基準として拠り所にすべきものが、社会的な常識や倫理観であり、企業理念や哲学といったものになります。ウチヤマグループにおいては、理念と哲学の手帳を全社員に配布し、理念の共有と価値観の統一化を図っています。法令の遵守は当然とした上で、判断や行動に迷いが生じる時には、ぜひ手帳を開いてみてください。そうすれば、何かヒントをつかむことができると思います。

ウチヤマグループも創業から四十七年を迎え、全体で約五〇〇〇名の仲間が働く大きな組織になりました。しかし、「一〇〇一＝〇」という言葉もあるように、たつた一人の誤った考え方や異なる価値観に基づく行動によって、今まで築き上げた信頼も一瞬にして崩れてしまつ恐れがあります。東証一部上場の企業グループとして、社会的な責任の自覚が私たち一人ひとりに期待されていることを常に意識し、その期待と信頼に応えながらより一層社会貢献できる企業づくりを行つて行きましょう。

今月の
おすすめ
書

- | | |
|--|---|
| 1 マネジメント(上)課題、責任、実践
(P.F.ドラッカー) | 6 銀河鉄道の夜
(宮沢 賢治) |
| 2 富の福音
(アンドリュー・カーネギー) | 7 いのち輝くホスピタリティ
(望月 智行) |
| 3 AI時代に「頭がいい」とはどういうことか
(米山 公啓) | 8 マザー・テレサ 愛のことば
(いもとようこ 絵) |
| 4 あなたの人生の意味(上・下)
(デイヴィッド・ブルックス) | 9 ケイティとモナリザのひみつ
(ジェイムズ・メイヒュー 作) |
| 5 読むだけで身につく世界の教養365
(デイビッド・S.ギダー、ノア・D.オッペンハイム) | 10 おばあちゃんとおんなじ
(なかざわくみこ 作・絵) |

♥自然災害に備えよう

九月上旬に台風二十一号が日本に上陸しました。大雨によつて関西国際空港が冠水、更に連絡橋が損壊して使えなくなるなど、関西地区を中心につきな被害が発生しました。その後には北海道にて最大震度七という大地震が発生し、北海道全域が停電になるという想定外ともいえる大規模災害になりました。このたびの災害で被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。ウチヤマグループの店舗や施設においては、幸い人的な被害はなく、お客様や職員は全員無事でしたが、一部で建物や設備に被害が発生しました。

今年の夏は台風が例年以上に多く日本に接近し、またその他にも全国各地で大雨や地震が発生するなど、日本のじじじじじ災害が発生してもおかしくない状況になつています。私たちの職場においても、お客様や職員の命の安全を守るために、日頃から非常時を意識した対策をしておく必要があります。特に介護を必要とする高齢者が入居・利用されている介護施設においては、緊急時の対応がスムーズにできるように、様々なパターンを想定した準備が欠かせません。さわやか俱楽部の各施設においては、自然災害等の非常時に備えて「非常災害対策計画」を策定しています。近隣の避難場所や災害発生の危険がある場所を事前に把握する、数日分の非常食や飲料水を備蓄しておく、夜間の災害を想定した避難訓練を行うなどの内容が含まれていますが、本当に災害が起きることを想定して実効性を伴つた計画になつているか、各施設で定期的に見直しを行つてください。

今回の北海道胆振東部地震においては、北海道内にあるさわやか俱楽部の三施設（さわやか東神楽館、さわやか室蘭館、グループホームむららん）でも地震発生直後から停電となり、職員も夜中から緊急対応に追われました。その当時の様子を、九月八日の本会議にWEBで参加していた北海道地区の松崎工リアマネジャーと室蘭館の相馬施設長が詳しく報告してくれました。

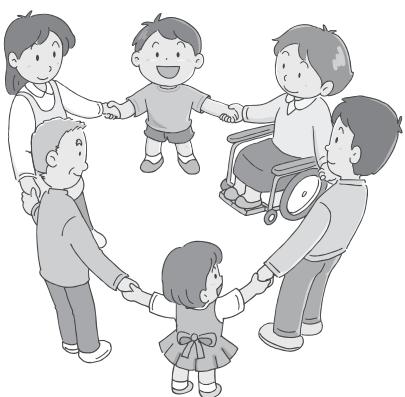
停電発生直後、非常時に備えた予備電源は作動しましたが、あくまで一時的なもので長時間は使用できません。予備電源が切れるごとに照明がつかなくなつただけでなく、電話やテレビ、パソコン等もすべて使えなくなつたため、情報収集や伝達の手段は携帯電話のみ、その携帯も普通の充電器が使えないという状態でした。幸い、職員が車のシガーソケットに対応した充電器を持っていました

で、施設長が車で携帯を充電しながら、一刻と変化する施設の状況を本社にも伝えてくれました。エレベーターも使えないのに、食事を上層のフロアまで運ぶために、職員が階段と廊下をリレーしてお客様のもとへ運んで対応してくれました。また、近隣の物流もストップしてスーパーには生鮮食品がなくなり、給食業者にも食材が入つてこなくなつたため、食料の調達は近くの農家に野菜を分けて頂くなどして何とか確保しました。ガソリンスタンドも地震当日は給油を待つ人の行列で大混雑しており、順番が回つてくるまでに売り切れることもありましたが、福祉車両は緊急車両と同様の扱いとして、翌日は給油量の制限はあつたものの優先的に給油ができたそうです。また、学校関係も休みになつたため、子供を持つ一部の職員は施設に子供を連れて出勤していました。不安を抱えていた入居者様も、子供たちの笑顔には元気つけられたようです。

その後、停電も数日間で復旧し、今では各施設とも元の落ち着きを取り戻していますが、今回発生した事象から私たちが学ぶことは多くあつたと思います。非常事態に備えた備蓄品の強化などは、改めて本社から通達を行つていますが、まずは職員一人ひとりが防災に対する意識を持ち、万一の場合を想定した準備をしておくことが大切です。法令で定められた定期的な避難訓練や設備点検等はもちろんのこと、新たに入つてくる職員に対する災害発生時の対応の指導や備蓄品の点検なども、各現場で継続的に行いましょう。

また、今回の地震や台風における当社の被災に関して、取引先の方々などからお見舞金や励ましの言葉などを多く寄せいただき、心から感謝しています。

ウチヤマグループでも、これまで大きな地震や水害等の発生時には、被災された高齢者の方を当社の介護施設に無償で受け入れるなど、様々な形で支援活動を行つてきました。今後も微力ではありますが、地域社会から求められる支援を、私たちにできる範囲で地道に続けていきたいと思います。



内山さわやか会 家族研修旅行 in 姫路・淡路・四国

内山さわやか会では、8月26日～28日にかけて毎年恒例の家族研修旅行を開催しました。今年は21名の内山さわやか会を中心とした方々にご参加いただき、「姫路・淡路・四国」を巡る楽しい旅行となりました。兵庫県神戸市と徳島県鳴門市をつなぐ「明石海峡大橋」「鳴門海峡大橋」を渡り、400年の歴史ある世界自然遺産「姫路城」や日本最大の美術館「大塚国際美術館」の見学、四国巡礼一番札所「靈山寺」「金比羅宮」への参拝、徳島県を代表する伝統芸能「阿波おどりミュージアム」での阿波踊り体験や讃岐うどん作り体験など、見て・触れて・感じる充実した家族研修旅行となりました。

今年は歩いて巡る場所が多く、また、例年ない程の猛暑が続いておりましたが、参加者同士の励まし合いや交流が多くあり、楽しく有意義な研修旅行となりました。また、初日には、さわやか俱楽部が運営する介護施設「さわやかリバーサイド西脇」の見学も行い、入居者様と職員の皆さんの明るい笑顔、手作りのホットドックとフルーツゼリーのおもてなしに感銘を受けました。最後には全員一緒に「炭坑節」を踊り、参加された皆様も大変満足された様子でした。ありがとうございます。(小橋 佳緒里)



LIFE MAP ライフマップで生きがい発見!!

story 2

88歳のチエコ様

さわやかレークサイド中の原【福岡県北九州市】

なんでも自分で出来る。カラオケ大好き。得意の手芸でお人形を作ることが日課。ピアスにラメ入りの服、お洒落に気を使う若々しい女性。そんなチエコ様。入居から9年。「腎機能低下で余命幾ばくか」と医師から告知がありました。

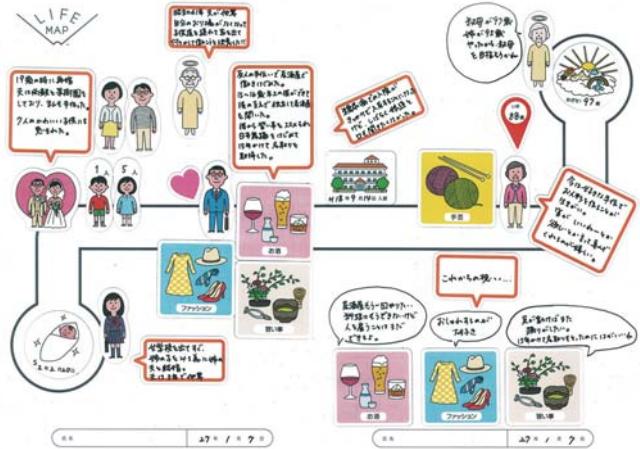
私たち職員は、病状が思ひたくないチエコ様に「まずは安心と安全が守られるように」という思いから、今行えていることを大切にしようとを考えました。そんなチエコ様があるとき口にされた「スポットライトを浴びたい」という言葉が、私の胸にひっかかっていました。今出来ることを優先し、安心、安全を守ろうとするのはチエコ様の本当の思いなのだろうか?と考えるようになり、その後「LIFE MAP」を使ってお聞きした思いに、はっとさせられました。

「もう一度輝きたい」「私はまだやれる」「居酒屋のママをしていたころの自分が一番輝いていた。」

チエコ様が一番輝いていた頃に戻っていただこう。施設の中で輝ける場所を作ろう。そう決意を固めた私たちは、施設内に「スナック・もいちど」をオープンし、チエコ様にその店のママになっていたいただくことにしました。

準備を進めるにあたって、周囲に大きな変化が起こりました。ご家族様から衣装のプレゼント、ボナーのカラオケ部門からはミラーボールのプレゼント、電気工事のご家族様はボランティアでそのミラーボールを天井に設置して下さり、ディスプレイ用のワイングラスやお酒の瓶は、多くのご家族様、スタッフが進んで寄贈して下さいました。気が付けば多くの人が「スナック・もいちど」に引き寄せられていました。

医師から「余命幾ばくか」と告知されたチエコ様です。本当にママとしてスナックを切り盛りできるのかという心配は直前まで募ります。しかし、いざスナックがオープンすると、お洒落をしたママとしての品格が自然に感じ



られ、誇りある輝く時間を過ごされました。テレビ番組の取材では「今が青春なの」と笑顔で話されました。

スナックは好評で定期開催となり、回を重ねるごとに来店されるお客様が増加。あまりイベントに参加されない男性入居者様も「スナックなら行こうか」と、皆が楽しみにする社交場となりました。

スナックオープンから1年半、チエコ様は天国に旅立たれました。「余命幾ばくか」と言われながらこんなに長く安定した状態が続いたのは、きっとチエコ様の輝く場所があったからではないでしょうか。

人生の最後の大切な時間を全うしていただくことは、お父様やお母様を施設に託して下さっているご家族様に与えられた私たちの使命です。娘様にも、チエコ様の輝ける時間に関わって頂くことができたのではないかと思います。「手芸が得意なお婆ちゃん」だったチエコ様は、LIFE MAPの活用によって「粋なスナックのママ」としてさらに輝き、私達にステキな思い出を残してくれました。(小林さおり)



スナック・もいちど



入居者様同士で乾杯

ひとりで
悩まない!

あなたの悩み話してみませんか?

お気軽にお問い合わせください。お電話、メールお待ちしております!

さわやか

相談室



電話番号

090-9497-5764

メール

sawayakasoudan@docomo.ne.jp

